

上関町の将来を

私たちの手に取り戻そう！

◆ 私たち上関町民は、上関原電の建設について、日々の暮らしか町の将来に係わる大きな問題として、長年にわたり真剣に考えてきました。その結果、大多数の町民が、「原電とともに町づくりをしていく」と決断し、今日に至っています。

◆ しかしながら、そうした我々の切実な思いを無視した行為が、町外から来た反対者により行われ続けており、その数も増えています。

彼らは、私たち推進町民の声には全く耳を傾けようとしません。そればかりか、最近では、我々に罵声を浴びせる者さえいます。

国策に協力し、原電を引き受けることとした私たちが、なぜ、そうした心無い仕打ちを受けなくてはならないのでしょうか。

◆ このような状況が一体いつまで続くのか、多くの町民が不安に感じています。しかし、妨害を続ける彼らにとっては、原電さえできなければ、町の将来がどうなろうと関係ありません。同じ町民として、祝島の反対町民に理解を求めるとも含め、彼らの手から、上関町の将来を私たちの手に取り戻すために、今こそ立ち上がりましょう。